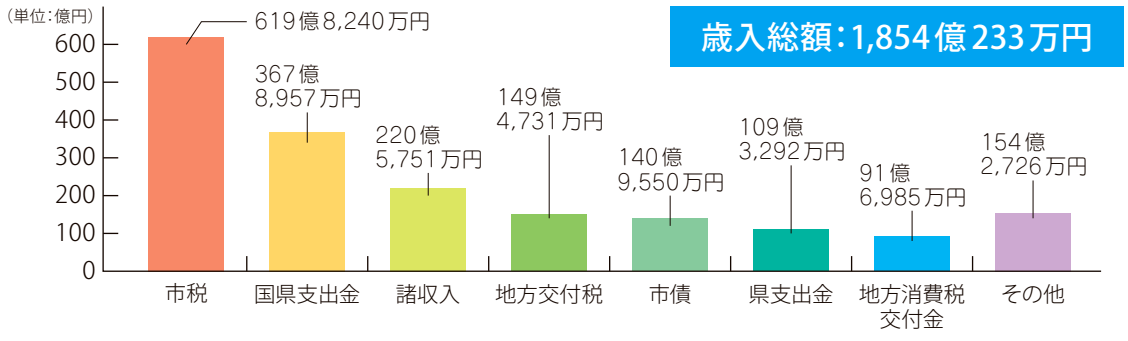
高崎市議会
新風会報
SHINPU KAIHO
令和4年秋号
発行所　高崎市議会新風会広報局
発行責任　新風会広報局
〒370-8501　群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpukai.com/

令和4年9月定例会の報告

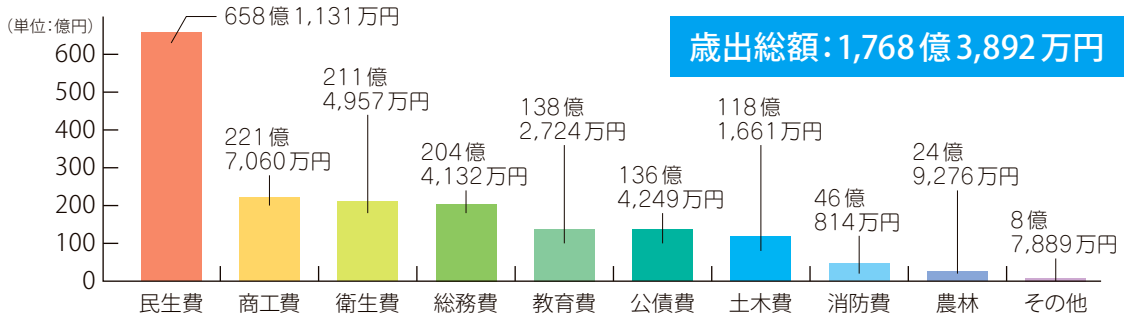
9月7日から28日まで第4回定例会が開催されました。定例会では、令和3年度の決算認定、令和4年度の補正予算議案等の27議案と、請願2件、承認1件が審議され、認定・同意・原案可決された。また2件の報告があった。

一般会計決算報告

歳入総額：1,854億233万円



歳出総額：1,768億3,892万円



特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	353億6,937万円	347億3,870万円
介護保険	358億8,068万円	352億2,032万円
牛伏ドリームセンター事業	1億　738万円	9,603万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	8,956万円	2,464万円
後期高齢者医療	50億1,007万円	49億7,499万円
農業集落排水事業	1億3,935万円	1億3,756万円

令和3年度に実施した主な事業

新型コロナウイルス感染症への対策
- 消毒液等配布事業 …… 1億9,321万円
- 子育て世帯等臨時特別支援事業 …… 36億7,467万円
- 新型コロナウイルス予防接種事業（繰越含む） … 32億7,467万円

教育と人づくり
- 学校トイレの洋式化 …… 3億　37万円
- 小中全校へ英語指導助手の配置 …… 3億3,069万円
- 学力アップ推進事業 …… 2,882万円

産業の振興
- まちなか商店リニューアル助成 …… 3億1,777万円
- 職場環境改善事業補助 …… 2億　516万円
- 中小企業者資格取得支援事業 …… 1,000万円

文化と歴史を活かした創造的な高崎
- 全国アマチュアミュージシャンフェスティバル …… 3,000万円
- 「世界の記憶」上野三碑保存活用事業 …… 3,638万円
- 榛名神社保存修理事業補助 …… 1,680万円

やさしい眼差しに満ちた市政
- 子育てSOSサービス事業 …… 2,958万円
- おとしよりぐるりんタクシー運行事業 …… 2億1,986万円
- 介護SOSサービス事業 …… 5,312万円

合併した地域の個性を活かした魅力づくり
- 吉井中央公園整備事業 …… 1億1,109万円
- 小栗上野介忠順紹介動画作成事業 …… 77万円
- 新町駅エレベーター設置 …… 4,511万円
- 榛名山ヒルクライムin高崎 …… 4,631万円

安心・安全な地域社会づくり
- 高齢者ごみ出しSOS …… 9,274万円
- 高浜クリーンセンター建替事業（繰越含む） … 69億　196万円
- 災害時電話FAXサービス …… 242万円

大勢の人が歩き、にぎわう街
- お出かけ食事券配布事業 …… 7億6,119万円
- お店ぐるりんタクシー運行事業 …… 3,773万円
- 空き家緊急総合対策助成 …… 1億2,296万円

賛成討論

清水 明夫

定例議会最終日9月28日に、新風会を代表して清水明夫議員が賛成討論を行いました。上程された27議案のうち、議案第67号「令和3年度高崎市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について」及び議案第68号「令和3年度高崎市水道事業会計及び高崎市公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定について」の2議案に対し、賛成する討論を行いました。

新風会からのごあいさつ

新型コロナウイルス感染症を巡っては、本市でも600人を超える陽性者数を記録した今年8月前半から比べると、大幅な減少がうかがえるようになりました。感染拡大防止のために自粛を強めるのか、それとも経済的な落ち込みを回復させるために活発化を図るのか、といった対立的な議論がされがちな風潮はあります。しかし、私たちの地域社会において必要なことは、「感染拡大防止対策」をしながら、どう「地域経済を活性化」させていくのかといった両立を目指すための議論であります。本市議会でも、そのような議論を積極的に重ねてまいりました。9月3日・4日に3年ぶりに開催された高崎まつりも、神輿や山車に参加する方々には直前のPCR検査を実施するなど、厳格な感染拡大防止対策を行った上で開催され、多くの方が心を躍らせたとともに、対策が功を奏し、高崎まつり後の市内陽性者数は減少の波をたどりました。市内イベント等も以前と比べると活発に開催されるようになってきており、感染拡大防止対策と地域経済の活性化の両立に向けて、着々と動き出している様子がうかがえます。

新型コロナウイルス感染症の扱いは、いまだ正解が見えない中ではありますが、政府が2ヵ月ぶりに開いたコロナ対策分科会では「もうそろそろ普通の病気として移るべき」といった意見も出ています。コロナに対する向き合い方は変化の局面を迎えているように感じます。コロナ禍においても時間は刻々と進み、私たちも一年一年、確実に年を重ねます。戻っては来ない今という大切な時間を犠牲にし過ぎないよう、皆さまが充実した日々を過ごせることを切に願い、私たちも引き続き、議会活動にまい進してまいります。

G7サミットの会合が本市内で開催!?

9月16日、2023年5月に開催される先進7カ国首脳会議(G7サミット)のデジタル・技術担当相会合が群馬県で開催されることが正式に決定しました。会合の会場は、本市にある大型コンベンション施設「Gメッセ群馬」が有力候補となっております。もしこれが実現すれば、本市に各国から多くの方々が訪れることによる経済効果が見込まれる他、本市の名産品や名所などを国外に発信する絶好の契機となります。また、この会合開催を通じた本市への影響として、デジタル技術産業の発展や、デジタルトランスフォーメーション(DX)の促進などにも影響が及ぶことが考えられます。本市がデジタル産業において先進的な活動ができること期待いたします。

地域新電力会社、設立へ

ごみの焼却熱を利用する廃棄物発電で生み出された電力を主電源とした地域新電力会社が設立されることが決まりました。2025年1月の完成を目指して建設を進めている新高浜クリーンセンター(仮称)にてごみの焼却の際に発生する熱エネルギーを利用し、水蒸気でタービンを回して発電、それを地域新電力会社が買い上げ、公共施設や市内企業などに供給する予定です。このように廃棄物の焼却熱を利用する電力会社は県内初であり、太陽光や風力と比較すると、気象状況の影響を受けない分、安定した発電ができることが特徴です。脱炭素社会に向けた新たな取り組みとして期待が寄せられています。

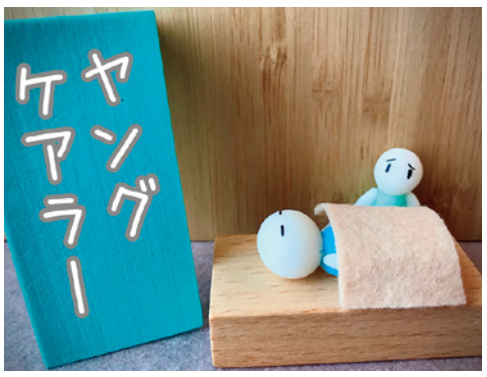
本市の高い教育水準

小学6年生・中学3年生が対象となる本年度の全国学力テストで、本市内の児童・生徒の正答率が全教科において全国平均を上回り、公表されている47都道府県の正答率と比べると5位以内に相当し、中学3年生の国語と理科については1位相当であるという試算が明らかになりました。また、同時に行われた学習状況調査では、自己肯定感についての調査や読書時間についての調査も行われ、本市児童・生徒における結果が全国平均と比べて高いことや、スマートフォンのゲームや動画を視聴する時間が少なかったことなども明らかになりました。その背景には、英語指導助手(ALT)を市内全校に配置したことや、教育委員会の中に指導主事のワーキングチームをつくったこと、また延べ1万1000人以上の学習ボランティアさんたちが、放課後などに児童・生徒に教えてくれたことなどが挙げられます。引き続き本市の子どもたちが自らの特性を活かし、自分らしく伸び伸びと育っていく環境を整備できるよう、新風会としてもバックアップして行く所存です。

市内企業に就職した若者を応援

本年度より新設された事業「中小企業就職奨励金」。これにより市内中小企業に就職する若者に、2022年10月1日から電子地域通貨で10万円分が交付されます。対象者は、令和4年4月1日以後に市内の中小企業に就職した29歳以下で、大学や専門学校、高校などを卒業後1年以内の人です。また就職後、6カ月以上同一企業で働いていて、申請時点で高崎市民であることなどが条件です。電子地域通貨は、みずほ銀行が提供する電子決済システム「J-Coin」のポイントとして交付されます。このポイントを利用できる市内加盟店舗を現在募集しており、手数料などは市の負担となるため、店舗側は実質的な負担なしで加盟できます。店舗で利用してもらう流れは、発行されたQRコードを店内に掲示し、ユーザーがそれを読み取って、自身のスマホで金額を入力して決済完了。利用されたポイントは、月に1回程度の頻度で店舗が登録した口座へ、売り上げから数%の手数料が差引かれた額が入金されますが、後から手数料分が市から入金される仕組になっています。より多くの店舗に登録していただき、市内経済活性化のための一手となることを願っています。

ヤングケアラーSOS、始動



兄弟の世話や、障害や持病を抱える家族の介護など、家庭の事情などで、お手伝いの範囲を超えて家事や介護を行っている子どもたち、いわゆるヤングケアラーを救うため、全国初となる試みとなる「ヤングケアラーSOS」事業が始動しました。国の調査では、中学2年生において約17人に1人の割合でヤングケアラーが存在することが分かっており、本市も例外ではありません。そのような境遇によって、地域の宝である子どもたちの芽を摘まないように、2022年9月より本格始動したのが本サービスであり、さっそく具体的な相談が来ているようです。サービスの対象は市内在住の小・中・高生ヤングケアラーで、派遣されたヘルパーが掃除、洗濯、料理などの家事や、兄弟の世話、家族の介護などをやってくれます。ヘルパーは原則2人以上で自宅を訪問し、1日2時間、週2日まで利用可能で、利用料は無料です。

ヤングケアラーの多くは、自分がヤングケアラーであるという自覚がありません。まずはこの制度を知っていただき、自覚の有無に関わらず、1人でも多くのヤングケアラーが救われることを願います。

一般質問

執：執行部答弁　議：議員発言

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、質問と答弁の一部です。全文および録画配信が高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、そちらも是非ご覧くださいませ。

録画配信 全文掲載
http://takasaki.gijiroku.com/voices/g07_Shitsumon.asp

長壁 真樹

本市の個人情報の取り扱いについて

議　本市の取り扱う個人情報はどのように安全性を担保されているのか。

執　平成14年に高崎市情報セキュリティーポリシーを制定し、内部監査を毎年実施しており、今年はUSBメモリー対策を最重点項目として扱う。記録媒体による個人情報の持ち出しは原則禁止とし、例外的に機器業者が持ち込む場合は情報機器持込申請書兼秘密保持誓約書を提出させている。

ぐんま緑の県民税と森林環境税について

議　ぐんま緑の県民税は、令和5年で2期目が終了予定、また環境森林税は、令和6年から本格導入される。2つの税の使途は異なっているが、ぐんま緑の県民税事業の延長に向けての県内の動きは。

執　ぐんま緑の県民税評価検証委員会にて、事業の検証・評価を毎年実施している。県内の森林組合等、多くの森林・林業関係団体から要望書等が提出予定となっている。

議　林業の担い手と森林整備は。

執　県民基金事業や森林環境贈与税事業を通じ、各事業体とさらに連携し、森林整備に努める。

大河原 吉明

本市のハザードマップと防災対策について

議　本年度に改定される本市のハザードマップの主な変更点は。

執　主な変更点は、近年の水害の激甚化に伴い、全国各地の中小河川で多くの浸水被害が発生していることから、新たに中小河川を洪水浸水想定区域に加えることである。また、新たな避難情報や防災・気象情報の入手方法など、最新の情報を盛り込み、令和5年3月にリーフレットとして全戸配布する予定である。

議　洪水の恐れがある時の利根川・井野川流域における指定避難所を開設するタイミングは。

執　利根川・井野川流域における指定避難所は、気象状況や河川の水位予測に基づいて適宜開設する。避難所が水没の恐れがある場合は、垂直避難を行うなど臨機応変に対応する。必要に応じて、近隣の大学や民間施設を避難所として活用する。以上のことをハザードマップに表記することを検討したい。

議　見やすく使い勝手の良いハザードマップが完成し、それが本市の中でしっかり活用されていく取り組みをお願いしたい。

丸山 芳典

農福連携事業について

議　倉渕地域に整備するメロン栽培施設整備の進捗状況と、今後のスケジュールは。

執　障害者の就労や社会参加の場として、本市直営のメロンの水耕栽培施設を整備する「障害者農業就労施設整備事業」は、令和6年度の開設を目指して事業を進めている。本年度に用地取得と造成、ビニールハウスと水耕栽培設備の設計を行い、来年度はビニールハウスと水耕栽培設備・管理棟兼作業棟などを整備する。メロン栽培を1年間通して行うためのハウス内加温は重要であり、倉渕地域の森林資源を生かした木質バイオマスボイラー導入を積極的に考えたい。

本市の農業支援策について

議　本市の農業支援策について伺う。

執　今年の降ひょうによる被害農家見舞金は、全体で829件、2,871万円の支援をした。令和3年度創設の農家規模拡大支援では、昨年度約7ヘクタールの荒廃農地等が再生された。本年度創設の新規就農者応援給付金は、約80件の相談、現在の給付予定の就農者は12件である。農業生産者団体の、米や農産物の6次産業化やブランド化、栽培技術向上を図る補助制度を活用してもらいたい。

清水 明夫

電子地域通貨導入について

議　中小企業就職奨励金について、いよいよ10月1日より対象者一人あたり10万円を電子地域通貨にて交付となる。対象者の条件は。

執　令和4年4月1日以後に市内中小企業に就職した29歳以下で、同一企業にて6カ月間継続勤務し大学や専門学校、高校などを卒業後1年以内の人。また申請時点で高崎市民であることなどが条件。

議　支払いを受ける店舗の側の取り扱いは。

執　加盟店舗にQRコードが配布され、このQRコードにより決済を行ってもらう。月に1回程度の頻度で、数%の決済手数料を差し引いた額を店舗へ入金、後から、手数料相当額を市から補填することにより、加盟店の負担もなくす仕組み。

議　引き続き店舗への周知を。誤決済などのトラブルが起きた際に現場が困らない対応マニュアル等もご準備いただきたい。また、今回の地域通貨が、地域ボランティアに付与されるなど、地域コミュニティ内の人間関係の構築を手伝うような地域通貨に育つことを願う。

後藤 彰

本市の防災対策について

議　片岡地区等において、災害発生時の、橋脚の崩壊などにより、橋の往来ができず、孤立した状態が生じた場合の市民に対する本市の対応について。

執　本市では、水害や地震などの災害による避難所生活に備え、平時から非常用の必需品をリュックサック等に入れて持ち出しができるよう啓発している。また、各家庭や自主防災組織等において、最低3日分の食料の備蓄を推奨している。ただし、大地震などで着の身着のままで避難した方には、市内5カ所の防災センターのほか、本庁、支所の備蓄食料などを提供する。被害が大規模で、避難が長期化する可能性がある場合には、速やかに災害時応援協定を締結した各種事業者からパンやおにぎり、弁当などを調達するとともに、県への要請や全国の自治体からの支援などにより物資を確保し、避難者へ提供する。このほか県を通じた災害派遣を要請し、自衛隊による炊き出しや給水支援のほか、全国の自治体からの災害派遣職員による避難所運営など、さまざまな被災者支援をお願いすることになる。

渡邊 幹治

倉賀野駅自由通路の現状と改修計画について

議　駅北口の段差のある自由通路を設置した経緯について。

執　昭和40年代貨物輸送が盛んな時代に、当時の国鉄が貨物輸送の拡充や安全性を図るため、貨物線の高架化を計画した。その後、貨物輸送が低迷し、高架化は中止され段差のある自由通路だけが残された。

議　倉賀野駅のエレベーター設置やバリアフリー化の将来構想についてどのように考えているか。

執　エレベーター設置やバリアフリー化については、駅舎が築50年以上経過しているため、駅舎の構造や耐震性なども含めJRや関係機関と慎重に研究していきたい。

高崎市の食品ロスに対する施策について

議　食品ロス削減の推進に関する法律が令和元年10月に施行されたが、本市の食品ロスに対する取り組みは。

執　「食品ロスを減らす料理教室」を開催したり、食品保存用の袋やフードドクリップ等の啓発用グッズを作成し、消費生活センターなどの窓口で配布したりしている。

白石 隆夫

本市の子どもたちの学力向上について

議　コロナ禍における取り組みについて。

執　感染症対策を十分に行った上で、授業の質を確保し学習内容の定着を行っている。

議　タブレットの活用は。

執　調べ学習や意見交換、活動の様子の動画を見合って助言し合うなど、活用している。

議　読書活動と学力向上については。

執　読書時間の計画的な実施、学校図書館の活動などに取り組み、読解力や思考力の向上に取り組んでいる。

議　本市の学力の状況は。

執　今年度実施された全国学力・学習状況調査では、全科目で全国5位相当以内、小学校国語で全国2位相当、中学校国語、理科で全国1位相当など、これまでで最も良い成績であった。好成績の背景は、何より子どもたちが頑張ってくれたこと、そして教職員や学力アップのボランティアをはじめ保護者など多くの人の尽力である。各学校には、学力向上コーディネーターという役割の教員がいて、校長のリーダシップの下、組織的、計画的に進めている。

時田 裕之

コロナ禍における本市の催し物について

議　コロナ禍における本市の催し物はどのような感染防止対策を行ったか。また開催の成果は。

執　参加者、来場者にマスクの着用や検温、手指消毒を徹底し、飲食スペースを設け、食べ歩きやアルコールの販売を禁止した。各スポーツイベント時には選手に検温の他、健康状態チェックシートの提出、競技の前後はマスク着用を徹底を呼びかけた。

議　昨年実施できなかった神輿と山車ではどのような感染対策を行ったか。

執　PCR検査を実施し、陰性の人のみ参加、全団体に検温機やマスク、消毒液を配付、渡御や巡行のルートを短縮、神輿を担ぐ人や山車に乗る人の数制限やマスクの着用、10分で交代などの対策を講じた。

本市のキャンプ場について

議　大型化してきたキャンプギアに合ったサイズに拡張してはどうか。

執　区画の拡大については、今後利用者の意見を聞きながら研究していきたい。

議　榛名湖畔の県立公園の一部を市へ移管してもらい、キャンプ場を設置してはどうか。

執　観光地を取り巻く環境を関係機関の意見を聞きながら、何が最適なのかを見極めていきたい。

青木 和也

ヤングケアラーSOS事業について

議　学校に対する周知は。

執　市立の小・中・特別支援学校、高崎経済大学附属高等学校および県内の公私立高等学校の校長等に直接説明し、協力をお願いした。また、夏季休業中に各学校の教育相談主任等の教員を対象に研究会を開催した。今後も継続して教職員への研修会を実施していく。

議　研修会に参加した教職員からの質問は。

執　対象者の発見方法やきょうだいで対象となる時の派遣方法、サポーターが行う具体的な支援についてなど、多くの質問があった。

都市計画道路の整備状況について

議　都市計画道路、福島小八木線の今後の整備見通しは。

執　福島小八木線のように一部未施行の区間がある都市計画道路についても見直しを行うが、都市計画道路は市民生活の根幹を支える重要な都市施設であるため、福島小八木線を含めた未整備の区間については、市民生活や経済への波及効果等を見極めながら研究していく。

議　歩道整備による桜山小および中川小への通学路をはじめとした歩行者の安全確保や、一部現道であり費用対効果が高いと見込まれることから整備を期待する。

秋のイベント情報

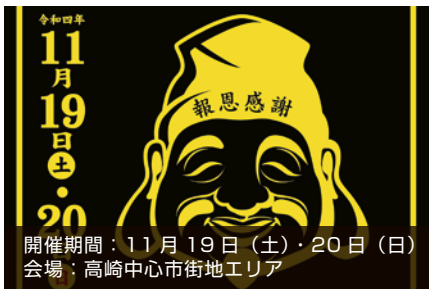
今秋開催されるイベント情報のお知らせです。詳細はスマートフォンでQRコードを読み取るとご覧になれます。

キングオブパスタ2022

開催日時：11月13日（日）10時～16時
会場：もてなし広場

高崎市内でパスタを扱う店舗が出店、来場者による投票で勝者を決めるコンテスト形式のイベント。 詳しく見る

高崎えびす講市



開催期間：11月19日（土）・20日（日）
会場：高崎中心市街地エリア

高校生販売甲子園、ペア旅行券などが当たるえびす札くじ、ダンスや縁日イベントなど盛りだくさんの2日間。 詳しく見る

高崎第九合唱団 第49回定期演奏会

開催日時：12月18日（日）15時～
会場：高崎芸術劇場　大劇場

高崎第九合唱団と群馬交響楽団、ほか豪華ゲスト達で奏でるベートーヴェン第九交響曲の演奏会。 詳しく見る

高崎マーチングフェスティバル

開催日時：10月15日（土）・16日（日）
会場：高崎アリーナ／シンフォニーロード等

「音楽のある街·高崎」を代表するイベント。キッズドリル／パレード／フリーパフォーマンスなどが行われる。 詳しく見る

県民参加フェスタ

開催期間：10月15日（土）・16日（日）
会場：観音山ファミリーパーク

3年ぶりとなる開催。ミニSL乗車､フリーマーケット、マジックショー、ジャズ、琉球太鼓、フラダンスなど盛りだくさん。 詳しく見る

第36回たかさき能

開催日時：11月13日（日）15時～
会場：群馬音楽センター

白衣観音建立50年周年の節目に始まった。芸術劇場や音楽センターなど市内各所でチケット販売中。 詳しく見る

第19回たかさき雷舞フェスティバル

開催日：10月9日（日）10時30分～17時
会場：もてなし広場／高崎駅西口駅前通り

群馬の風物詩とも言うべき「雷」のように激しく「舞」うダンスパフォーマンス。全17団体が演舞披露する。 詳しく見る

第33回高崎音楽祭

開催期間：10月1日（土）～10月16日（日）
会場：高崎芸術劇場／高崎市文化会館

クラシックやロック、ラテン、ジャズなど多種多様な音楽コンサート19公演が開催される。 詳しく見る

第1回ヤナガワ村村長選挙

開催期間：10月1日（土）～10月31日（月）
会場：ヤナガワ周辺エリアの飲食店

期間内、柳川エリアの飲食店に最も足を運んだ人が村長に就任。LINEを活用した飲食店回遊イベント。 詳しく見る

新風会所属議員一覧　～市政に関するご相談はお近くの議員まで～

会 長
田中 治男
たなか はるお
高崎市八幡原町2054
☎027-346-3287

副会長
松本 賢一
まつもと けんいち
高崎市新町1652-5
☎090-6033-8421

副会長
時田 裕之
ときた ひろゆき
高崎市浜川町1799
☎090-4948-4450 ☎027-344-4276

幹事長
石川 徹
いしかわ とおる
高崎市箕郷町東明屋106-1
☎027-371-3344

副幹事長
白石 隆夫
しらいし たかお
高崎市石原町4049
☎027-325-5983

政調会長
渡邊 幹治
わたなべ かんじ
高崎市倉賀野町1684
☎027-346-6133

副政調会長
後藤 彰
ごとう あきら
高崎市乗附町1563-27
☎027-328-5100

議会対策委員長
片貝 喜一郎
かたかい きいちろう
高崎市和田町6-3
☎090-1808-7448

会 計
樋口 哲郎
ひぐち てつろう
高崎市吉井町馬庭827-1
☎090-3245-0195

広 報
清水 明夫
しみず あきお
高崎市根小屋町2095-3
☎050-5479-5478

会計監査
後閑 太一
ごかん たいち
高崎市十文字町150-1
☎027-374-0416

顧 問
柴田 和正
しばた かずまさ
高崎市金井淵町259
☎027-343-7161

顧 問
柴田 正夫
しばた まさお
高崎市下中居町47
☎027-322-8347

顧 問
丸山 和久
まるやま かずひさ
高崎市江木町1111-1
☎027-323-8855

柄沢 髙男
からさわ たかお
高崎市上里見町197
☎027-374-4304

長壁 真樹
おさかべ しんじ
高崎市中室田町甲525
☎027-374-3384

飯塚 邦広
いいづか くにひろ
高崎市吉井町岩崎687-3
☎090-5427-2201

大竹 隆一
おおたけ りゅういち
高崎市吉井町片山895-2
☎027-387-4390

高崎市議会議長
根岸 赴夫
ねぎし ゆきお
高崎市上中居町407-5
☎027-326-0635

高崎市議会副議長
後閑 賢二
ごかん けんじ
高崎市塚田町222-2
☎027-373-2214

丸山 芳典
まるやま よしのり
高崎市倉渕町権田138-1
☎090-2725-0817

大河原 吉明
おおかわら よしあき
高崎市京目町1634-6
☎090-9385-8680

青木 和也
あおき かずや
高崎市福島町740-7
☎090-5442-8248

高崎市議会 新風会
〒370-8501
群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpukai.com/